



FAS住まい新聞

発行責任者
(株)福地建装
北斗市中野通 324
Tel 0138-73-5558
fax 0138-73-8460

◇ 第23回ファース全国大会のテーマ・ビジョンを掲げる！ ◇

「ビジョンを掲げる！」をテーマに第23回ファース全国大会は、さる6月21日、ファース本部の地元、北斗市総合文化会館「かなでーる」から生ライブ配信にて開催いたしました。

今年は名古屋市での開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染での、参加者の健康を考慮し、前回同様北斗市での生ライブ配信に変更いたしました。

昨年とは違い、感染者減少に伴うイベント開催の緩和があり「かなでーる」大ホール開催で、十分なソーシャルディスタンスも取れると判断しました。

全国大会当日は、全国各地の加盟工務店様・販売代理店様・FMA・協力企業様、そして地元のユーザーの方に参加して頂きました。

今回は、【ビジョンを掲げる！】がテーマでした。最初にテーマを決めたのは、第6回大会長野県で開催されたときの【幸せへの気づき】でした。

その時、その場所にあったテーマを掲げ、それに向かい大会が行われています。

過去の地元北斗市での開催では【現在感謝！挑戦が道を開く】、宮崎県での開催は【どげんかせんといかん！脅威をチャンスと捉え、今こそ動くとき！】

秋田市の大会は【原点があるから今がある！】などがありました。

さて、来年の全国大会は、今年できなかった愛知県名古屋での開催となります。名古屋弁の入ったテーマなのかどうか、そのテーマにも楽しみです。

◇ 想いを込めた Opening ・ Ending メッセージ ◇

全国大会は、オープニング映像が流れ、主催者挨拶と続いていきます。

今年のオープニング曲は【八重の桜】、それに合わせた映像と、福地会長の想いを込めたコメントが流れます。今年の想いは！

【朝の来ない夜はない 春の来ない冬もない

越えられない山はない 渡れない川もない

収束しないパンデミックなどない

解決しない課題もない

自分に厳しく人に優しい生き方こそ尊敬される人間に

人に優しくした分だけ自分にも優しくなれる

優しさの中に優しさなど存在せず

厳しさの中にこそ優しさが存在する

人生って厳しいことばかり

厳しいからこそ小さな灯にも幸せを

一宿一飯義理人情

情けがあるから明日もある

時には投げ出したくなることも

続けていてこそ得られる幸せもある

ビジョンがあれば 希望があれば 目標があれば 大志があれば
誰もが幸せになる動機となるファースグループには常に明るい明日がある】

大会の終わりは、福地会長の総括講和があり、エンディングの曲は【幸福のかたち】、エンディングコメントは

【家づくりの先駆者たちよ

時代がやっと我々に追いついてきた

誰もがその良さに気付いたとき

私達先駆者は更に一歩前にいる

そう！我々は常に一歩前にいなければならない

住む人と関わる人の幸せづくりのため

ビジョンがあるから明日がある

やってくる明日のために今日がある

今日の笑顔は明日も笑顔に

先駆者たちの意義ある笑顔

ファースグループの先駆者たちは確実に明日のビジョンを切り開く】

◇ これからの家づくりとは ◇

2025年省エネ基準適合義務が決まり、国の施策は確実に省エネに向いていること、電気料金高騰を受けて、時代は省エネ住宅ブームとも言えるでしょう。

実際UA値(外皮熱貫流率)の数値を提示する住宅会社も少なくありません。しかしその数値は、設計時の計算数値でしかありません。

最初の数年は、冬暖かく夏は涼しかったのに、いつの間にか寒くて暑い家になったと云う、お施主さまも少なくありません。

これは、家の断熱性能が劣化している可能性が高いと考えられます。最初の数値だけを信じて家を建築しても、住んでからしだいに断熱性能が劣化しては困りものです。施工する住宅会社は、きちんとビジョンを掲げて省エネ住宅に取り組んでいるのか、また流行だからと安易に省エネ住宅に取り組んでいるのかを見極めることがとても大切となります。

「住んでから後悔しない家づくり」、「住む人と幸せを分かち合う家づくり」、私たちファースグループは、日々進化をしながら「時代の先端を走る家づくり」を目指すことを、今回の全国大会においても再宣言いたしました。

(著・ハウジング事業部 岩山不二夫)